

## 令和7年度「#あおばな in 八戸学院光星高校」開催概要

県内の高校生の皆さんに、知事との意見交換を通して県政を身近に感じてもらうとともに、新鮮な意見・発想や県政に対する期待等を把握し、開かれた県政の推進と今後の県政運営の参考にするため、県民対話集会「#あおばな～青森・未来・対話～」を下記のとおり開催しました。

○日時：令和7年12月23日（火）10：15～11：35

○場所：八戸学院光星高等学校 体育館

○参加生徒：全校生徒 864名

### ＜生徒との意見交換＞

知事と生徒の皆さんが以下の内容について対話しました。

- ① 県民駅伝の継続
- ② 子どもの医療体制の充実
- ③ 人口減少社会における工業技術の重要性
- ④ クマ被害への対応策
- ⑤ スポーツ振興に向けた環境整備

※知事から生徒の皆さんへのコメントの一部を紹介します。

- ・皆さんは部活動で全国各地から来てくれていると思う。青森県もきっと、第2、第3のふるさとなになっていると思うので、ぜひ皆さんにも青森県のことを考えてほしい。
- ・私自身、青森県で生まれ育ち、県外に進学、就職をした経験があるので、皆さんには県外に出ないでほしいとは思わないし、それぞれが夢をもって頑張ってもらいたいと思う。みんなが夢を実現するその先に青森県がある、この青森県でチャレンジができる、という環境をつくるのが私の仕事。
- ・みんなで輪になって話し始めると、試行錯誤が始まったり、一人ひとりのよさが活きたり、自分の役割が明確になったりして、一気に物事が進んでくる。だから対話は重要だ。
- ・これから皆さんは、スポーツの分野でも学業の分野でも、いろんな場面で壁に当たることや、うまくいかないことがきっとあると思う。そういうときも対話を大事にしてほしい。仲間、先生、親との対話が、課題解決のきっかけになってくれると思う。今日の対話集会で学んだことを、これからの人生の中でも思い出して、少しでも役に立ってくれると嬉しい。

